

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所はばたき			
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)	27人
○従業者評価実施期間	令和8年2月17日		～	令和8年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月の活動を年間で考えて掲示しています。5領域を意識した活動を小集団活動に取り入れ、発達の促しを行っています。	クッキングや季節行事、買い物体験など、生活に必要なスキルを学ぶことを目的に立案しています。また、利用者の特性に応じて、音楽遊びやルールのある遊び、余暇につながる活動などを立案しています。	職員が遊びの中からSSTを取り入れた活動を充実させたり、毎日の活動の幅を広げたりできるように、自己研鑽に努めています。
2	明るく広い空間で自由に体を動かしながら、安心して学びや遊びに集中できる場を提供しています。また、個室を利用し、個別対応やクールダウンなど状況に応じた環境設定を行っています。	広い空間を活かして、ボール遊び、ダンス、サーキットなどの運動プログラムを実施し、児童の運動能力の向上やストレス発散につなげています。また、安全点検や日々の清掃を行い、安全で清潔な環境づくりをしています。	安全な環境のもと、一人ひとりに応じた支援プログラムを提供しています。
3	土曜日営業し、学校休業日のサービス提供時間が長く、保護者のニーズに合わせた運営を行っています。また、施設内に相談支援事業所があり、連携がとりやすくなっています。	保護者のニーズに合わせて受け入れを行っていますが、児童の特性に応じてマンツーマン対応が必要な児童がいるため、職員配置に苦慮する場合があります。 同一建物内に相談支援事業所があり、担当児童の情報共有や連携がスムーズに行うことができます。また、他相談支援事業所や他放デイ事業所、関係機関とも情報共有し連携していくことを意識し行っています。	児童の特性や多様化により、職員の資格や経験にも配慮が必要なことから人材不足が懸念されます。 相談支援事業所や関係機関等と連携し、より良い支援に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休みは支援時間が長く、職員配置に苦労しています。また、職員の休憩や有休が予定どおりに取りにくいため、職員の職場環境改善が必要です。	職員負担を軽減するため、今後も職員体制を整備する必要があります。 土曜日営業やサービス提供時間が長い面では、保護者の方に喜ばれていますが、安定した保育士や児童指導員の人材確保が必須です。	限られた職員体制の中でも安心・安全な受け入れができるよう、職員間のチームワークを円滑に行い、児童が安心・安全に利用できるよう支援していきます。
2	事業所のマニュアルや訓練等の実施について、保護者への周知が不足しています。	迎え時に保護者へお伝えしたり、館内掲示を使って周知に努めていますが、更なる周知が必要と考えます。	館内に掲示している旨などを、HUGを活用し定期的な情報発信を行い、保護者への周知に努めています。
3	地域のこどもと活動する機会の提供が行えていません。	地域の方との交流の場は安定して提供できていますが、こどもとの関わりができませんでした。	地域の方との交流を通して、コミュニケーションスキルの習得やルールへの学び、地域とのつながりを意識した支援ができています。今後は、地域のこどもとの挨拶や交流の場等、こども同士が関わる機会を見出していきます。